

19期総会資料 WG2、意思疎通環境の整備

事業報告

WG-2 意思疎通環境の整備

【計画】

コロナ禍で生活環境も変化し、様々な場所から仕事ができるテレワークなども定着したが、社会の交流が少なくなり、会員間の意志疎通(情報共有)が損なわれた。会員間の意思疎通が極めて重要と考えており、成り行きで回復を待つのではなく、意思疎通のための諸環境を整え、積極的に回復に努める。

具体的なテーマは、(1)定例会の現地参加の会員を中心に食事をしながら意見交換 (2)意見交換内容(議題)に関するアンケート調査 (3)年1回全会員を対象に大々的な懇親会を実施

【結果】

(1)定例会現地参加の会員を中心に懇親会で意見交換を行った(計5回)。(2)意見交換内容(議題)に関するアンケート調査については実施できなかったが、懇親会で議題についてヒアリングできた。(3)2025年11月27日に大々的な懇親会を実施し、24社36名が参加した。意見交換だけでなく、今後のコラムや事例発表の実施も促し、会員同士の親睦が深まった。

事業計画

WG-2 意思疎通環境の整備

今年度も引き続き、会員同士で設備に関連した専門知識や技術、自社の取り組みなど自由に意見交換し、建設業界の発展に寄与するとともに会員相互の懇親を深めて頂く機会を作っていく。

(1) 定例会現地参加の会員を中心に食事をしながら意見交換 (2) 意見交換内容(議題)に関するアンケート調査 (3) 年1回全会員を対象に大々的な懇親会を実施する。

以上